

岐阜県 貝月山報告 平成21年3月1日(日)

メンバー: I.O, K.O

天候: 晴れのち曇り

コースタイム: 貝月リゾートスキー場第2リフト終点手前林道 9:50 ~ スキ-装着 950m 地点(10:30-10:40)
~ 山頂(11:45-12:25) ~ スキ-脱脚 950m 地点(13:35-13:40) ~ 駐車地 14:20

概要: 朝発のため、3時間以内でアプローチできる山として、雪はめっきり減少したが、予てより一度登って滑りたかった貝月山に出かけた。事前調査では、ゲレンデはすでに閉鎖、積雪は期待できそうになかった。現地に着くと予想通り、スキー場に積雪はゼロ、林道を第2リフト終点手前 300m 近くまで上がることができた。部分的に道路上に積雪が残るが、登山口からも雪はなし。ミニスキー 2 台を担いで歩き出す。ようやく高度 950m 辺りからシール及びスノーシューでの登高が可能になった。春日村からのコースとの合流点からは、ツボ足の新しいトレースが残っていた。先行者がいる模様。ツボ足で雪が荒れると、帰りのときのスキーがすべりにくいなぁと、自分勝手な思いを抱きながら登る。小貝月山を巻き、鞍部へ少し下ってから頂上へ至った。積雪不足を除けば、天気はまずまず、白山から金糞岳、奥美濃の山々を望むことができた。午後から雲が出てきたが、今回も先週に続き軽いハイキング気分となった。

今回、スキー板はシール登高ができる、ロシニョールのフリー-トレックを使った。板の幅が広いので、安定した滑りができる。



貝月スキー場



小貝月山



フリー-トレック



貝月山頂上



金糞山



もはやスキーも限界

ホームページへ <http://allmt.hp.infoseek.co.jp/>